

SOCIAL CONTRIBUTION

小学生向け公益事業

ものづくり体験学習教室

- 将来の技術者に向けて

(一財)新潟県建設技術センターでは、公益活動の一環として「ものづくり体験学習教室」を行っています。この取り組みでは、子ども達にコンクリートを使ったペーパーウエイトを作ってもらい、ものをつくる楽しさや、完成したときの喜びや達成感を味わうと共に、土木について関心や興味を持ってもらうため3つの普及教育活動を行っています。

MISSION - 01

コンクリートを身近に感じ、
社会基盤整備への理解と関心を深めてもらう！



MISSION - 02

コンクリートに関する科学的な事象の体験を通じ理化学分野に興味を持ってもらう！



コンクリートへの関心
理化学への興味
将来の技術者

MISSION - 03

ものづくりの体験を、
将来、技術者への進路につなげてもらう！

私たちは、社会貢献事業として
様々な取り組みを行っています。



一般財団法人
新潟県建設技術センター

本所 〒950-1101 新潟県新潟市西区山田2522-18
TEL 025-267-4804 ☎ 0120-733-308 (代表)
FAX 025-267-4854
MAIL saiyo@niigata-ctc.or.jp

長岡支所 / 上越支所 / 佐渡支所 / 新発田出張所 / 南魚沼出張所



www.niigata-ctc.or.jp/

確かな信頼・技術があるからできること。

KENGI RECRUITING



安定している会社ってホント？

働きやすいってホント？

先輩のお仕事風景・インタビュー

充実の福利厚生と制度 … and more!



一般財団法人 新潟県建設技術センター

新潟県の土木・建築工事を支える

縁の下の力持ち

About us ...

私たち一般財団法人新潟県建設技術センターは、行政機関でも民間企業でもありません。その間に立ち、第三者的な立場で公共工事の実施を支援している非営利団体です。

OUR MISSION

- 良質な社会資本を整えるため土木施設及び建築物の品質を確保する
- 建設技術者の資質向上を図る
- 地域の安全・安心の確保と地域社会の健全な発展に寄与する



BUSINESS

公共工事発注者支援事業

公共の土木・建築工事において、積算や施工管理といった技術的な支援をしています。そのほか、検査補助支援や総合評価入札方式支援、災害復旧事業支援等、その業務は多岐にわたり、当センターの事業の中核を担っています。

施工管理

公共工事では設計図や仕様書に定められた規格、寸法、材料を基に目的物を完成させます。施工管理は、設計図や仕様書に定められたとおりに工事が施工されているか、工事現場で施工状況や出来形を実際に確認する業務です。

積算

公共工事では目的物を完成させるために必要となる費用を発注者が定め、その金額を基に、入札により工事施工者が決まります。積算は、設計図や仕様書から、工事目的物を完成させるために必要な労務・資機材に係る費用を基準書に基づき計算し算出する業務です。

調査

県道および県が管理する国道の道路の状況を台帳で管理し、県内の道路管理業務を円滑に遂行するために役立てられています。台帳作成のほか、地方交付税等の交付算定基礎資料の作成、道路施設現況調査資料の作成など、道路整備に関する業務を幅広く行っています。



BUSINESS

建設材料試験事業

公平・中立な公的試験機関として、社会資本の基盤となるコンクリート構造物や土質、基礎及び舗装等の建設資材に求められる多様な品質試験を行い、適切な品質確保と質的向上を図っています。

BUSINESS

研修事業

新潟県及び市町村の職員及び建設業者の方々を対象として、社会資本整備や地域づくりを担う人材育成を支援するため、各種セミナーを実施しています。

BUSINESS

研究助成及び普及啓発事業

新潟県が抱える地域特有の問題解決や地域活性化のための研究、活動等の支援や、将来を担う子どもたちに土木の魅力を伝え、職業や進路の選択へと繋げてもらえるよう活動しています。

Q

安定している会社ってホント!?

どんな時代でも 必要とされる事業!

「土木関連の公共工事はなくなる。その工事のサポート事業をしている県の財団で、安定した職場だよ」と高校の先生に紹介されたのが入社のおかげです。職場の雰囲気が良く、先輩たちが一から指導してくれますので、専門知識と技術を働きながら学べます。福利厚生も充実。必要資格を取得していれば給料も上がります。

橋や道路など普段の生活に欠かせないインフラ整備に携わり、人の役に立てることが仕事の魅力。以前、高校時代に通学で使った駅の整備工事を担当したんです。工事後、使いやすくなった駅を見て、「この仕事に就いて良かった」と実感しました。

YES!!



技術部 技術第二課
鶴巻 幸之助

新潟市出身 / 2016年入社 / 新潟工業高等学校土木科卒。二級土木施工管理技士。技術士補（建設部門）。

Q

働きやすいつってホント!?

子育ても スキルアップもサポート!

大学卒業後は建築設計事務所で働いていましたが、結婚し、子どもを授かってワークライフバランスを考え直し、長男が1歳の時に転職しました。前職と違い繁忙期以外ほとんど定時で退社でき、子どもの学校行事などで休んでも周囲のサポート体制は万全。入社後に長女を授かり、1年半ほど産休と育休を取得後、スムーズに復職できました。

通常業務の傍ら、専門の学校に通い、一級建築士の資格を取りました。子育ても、個々の技術力向上も支援してくれる職場です。転職して大成功でした（笑）。工事の積算をした公園に、子どもと一緒に遊びに行くことがあるんですよ。「自分が仕事で関わった公園だ」と思うと、感慨深いですね。

YES!!



技術検査部 技術検査室 主任
平澤 未来

長岡市出身 / 2016年入社 / 信州大学工学部建築学科卒。建築設計事務所を経て入社。1年半の産休・育休後、復職。一級建築士。

DATA OF KENGI

数字で見る建技

月平均
残業時間

9.4 1人月平均
時間
(2022年度実績)

実績
ボーナス

4.4ヶ月分
(2022年度支給実績)

新採用職員男女比率

男性 62%
女性 38%

(26人中
男性16人
女性10人)



年間休日
年休取得率



年間休日

126日

土日祝日、お盆、年末年始

年休取得率

75%

(正職員 2022年度実績)

新採用職員の資格
取得奨励制度利用者数割合

100%

(26人中:26人)



新採用職員
離職率

0%

(2016年~2022年実績)

職員
平均年齢

43.7歳

(正職員 2022年度現在)

STAFF

先輩のお仕事&プライベートを拝見

Lifestyle



土木技術職

技術部 技術第一課 小坂 光平

新潟市出身 / 2012年入職 / 日本大学理工学部土木工学科卒。建設会社勤務を経て入職。一級土木施工管理技士、技術士補（建設部門）、ME新潟（構造・防災）。

ON

Working time



終業時間まで効率よく
仕事を進める

前職である建設会社勤務時代に、現場でこのセンター職員のプロフェッショナルぶりを目の当たりにし、「こういう仕事がしたい」と転職しました。現在の業務は県の土木工事の積算と施工管理。事務所でパソコンを使っの積算、発注用資料の作成、事務所外で行政の人と打ち合わせ、道路や河川、橋梁などの工事現場で施工管理と、日によってスケジュールは変わります。最近、インフラのメンテナンスエキスパート「ME新潟」の資格認定を受けました。資格取得を支援する制度が整っているので、忙しくてもスキルアップできています。

ある1日のスケジュール

スケジュール確認・メールチェック デスク周りの整理整頓	打ち合わせ資料・書類確認 現場立ち合い項目整理	報告資料作成
8:00 出勤	8:30 始業	12:00 昼休み
13:00 社内作業	13:30 外出	15:30 帰庁
17:15 終業	17:30 退庁	
発注用資料作成 積算業務	役所にて打ち合わせ 施工管理現場で立ち合い業務	



OFF

Private time



子どもとの時間を
目いっぱい楽しむ!!
家のガーデニングも計画中

繁忙期以外、残業はほとんどないので、仕事の後は3人の息子たちとしっかり向き合うことができます。習い事をしている息子のお迎えにも行くし、一緒に風呂にも入りますよ。料理は苦手な妻に任せきりなので、洗濯や食器洗い、風呂やトイレ掃除などの家事は自分からやるようにしています。休日は、晴れていれば子どもたちと朝から公園に行くことが多いですね。家を新築した時、子どもと遊べるよう庭を設けましたが、まだ芝生を敷いたくないので、今後はガーデニングもしてみたい。子どもが小さいうちは、家にいながら楽しめるような趣味を作って、仕事の疲れを癒やしたいと思っています。

STAFF INTERVIEW



佐渡支所 業務課 主査
小池 麻子

佐渡市出身 / 2006年入職 / 職業能力開発大学校建築専攻卒。
福島で東日本大震災の復興支援業務などを経て現職。一級土木施工管理技士、技術士補（建設部門）。



長岡支所 技術第一課
土田 純

三条市出身 / 2016年入職 / 立命館大学理工学部建築都市デザイン学科卒。一級土木施工管理技士。技術士補（建設部門）。



技術部 技術第一課長補佐（技術第一係長）
北條 孝

上越市出身 / 1994年入職 / 旧高田工業高等学校（上越総合技術高等学校）土木科卒。南魚沼、佐渡、上越などの支所勤務、行政出向などを経て現職。一級土木施工管理技士、技術士補（建設部門）、公共工物品質確保技術者（Ⅱ）



技術部 技術第一課
西條 愛菜

妙高市出身 / 2019年入職 / 上越総合技術高等学校環境土木科卒。

掘り下げるほど多くを学べる。
興味を持って飛び込んできて！



地域貢献に対する熱意と、
仕事へのやる気を大切に。



暮らしに欠かせない！
社会インフラを提供する仕事



職場見学で疑問や不安を解消
安心して長く働ける組織！



公益性、中立性が第一にある組織なら、いい品質の物を仕事として作ることができると考え入職しました。最初は土木用語が全く分からず戸惑いましたが、先輩たちが丁寧に指導してくれました。外部研修やセンターの研修、資格取得の勉強会もあり、スキルアップしやすい環境です。

職場の雰囲気は和気あいあい。入職時は「土木工事業務の男性って怖いのかな」と思っていたのですが、みなさん優しく、イメージとのギャップがよかった（笑）。現場で物を作るという共通の目的がありますから、どんな方とも話していて楽しいです。

以前、佐渡には狭くて歩道もなく、危険を感じていた道路があったんです。私が初めて積算から施工管理まで含めた一連の仕事任せてもらえたのが、その道にバイパスを作る工事でした。今でもそのバイパスを通るたびに「頑張ったかいがあった。地元役に立てた」とうれしくなります。関わる分野も幅広く、掘り下げれば掘り下げるほど多くを学べる仕事。興味があったら、ぜひ飛び込んでほしいですね。

大学卒業後は地元に戻り、仕事で地域貢献したいと就職先を探しました。土木工事の発注者である県と、施工業者との橋渡しという仕事内容に魅力を感じ入職しました。入職後は指導担当者制度により、マンツーマンで先輩から2年間しっかり教えてもらえます。今は自分が教える立場になりました。新人の仕事の理解度を細かく確認し、性格に合わせて指導しています。その人のペースに合わせた指導がセンターの方針。独り立ちまで責任を持ってサポートします。

組織のモットーは信用と信頼。誠実な仕事を常に心掛けています。発注者と施工業者の間に立つ第三者として、公平公正な視点を失わないことを肝に銘じています。

やる気を持ち、自主的にチャレンジする人は、より質の高い仕事ができます。次々と資格を取得し、スキルアップしていく同僚たちを見ると、「自分も頑張ろう！」と励みになりますね。地域に役立ちたい強い思いと、意欲のある人と一緒に仕事をすることを楽しみをしています。

高校の先生から勧められて入職しました。入ったら働きやすく驚きましたね。休暇はとりやすく、福利厚生は手厚い。男性の育休取得推奨など、近年はさらに制度が充実してきています。

入職2年目の1995年、上越の関川・姫川7.11水害が発生しました。私は当時、県の機関である上越の土木事務所に出向中。災害時での地域住民との向き合い方など、県の担当者から土木行政について教えてもらい、非常に勉強になりました。

技術職だけでなく、総務の事務方の経験もあるんですよ。3年間、経理係長として法人の運営面をサポートしました。39歳で係長になってからは、若手職員のマネジメントがメイン業務。彼らの仕事のチェックと労務管理ですね。組織内にはいろんな立場の人がいます。それぞれの価値観の違いを理解し、共感することを大切にしています。うちの法人の仕事は一般には見えにくいですが、生活に欠かせない社会インフラ提供の一環です。地域住民の命を守り、暮らしを便利にする、やりがいの大きい仕事です。

見学した時、先輩職員の話聞いてすぐ「ここで働きたい！」と思いました。中立の立場で現場に関わる業務内容が魅力的だったし、入職後はOJT制度があり、2年間マンツーマンでしっかり教えてもらえる。独り暮らしになるので経済面も不安でしたが、同じ高校卒の先輩方から、家賃補助など福利厚生面の説明もあったので安心しました。

入職後まもなく、仕事で使っていたデータを消してしまうという大きなミスをしたことがあります。落ち込んでいたら先輩から「誰にでも起こりうること。今後は二度と繰り返さないよう注意すればいい。経験を積まないと人は成長しない。失敗を恐れず、どんどんチャレンジしていけば周りが助けてくれる。大丈夫」と言われたことは忘れられません。先輩たちの期待に応えられる力をつけようと、さらに仕事にまい進するきっかけになりました。女性の先輩たちが、子育てをしながら生き生きと仕事をする姿に、いつも勇気をもらっています。この先どんなライフイベントがあっても、ずっとここで働きたい。いつか、出身地の妙高の現場で発注者支援事業をしたいですね。

